

丹総観第 10-8 号
平成20年10月23日

国土交通省道路局長 殿

丹波山村長 岡 部 政 幸



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました標記の件について
本村別紙のとおりです。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案

山梨県丹波山村

地域間格差を是正し、地方道路整備を確実に進める。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②－１地域の現状と抱える課題

山梨県丹波山村

○現状 (県道上野原丹波山線)

本村周辺の道路は周囲を急峻な山に囲まれた山岳道路で特に県道上野原丹波山線は通行するのに峠を１つ、２つ越えなければなりません。

加えて、幅員が狭い上カーブが多いため大型車の通行は不可能であり、冬季は雪や凍結のため通行止めを余儀なくされております。

広域連合の推進を始め、各種交流や広域行政を考える上でも大きな障害となっております。

今川トンネルの早期建設を要望いたします。

○課題

トンネルが完成すれば丹波山・小菅間が１０分以内で通行でき、教育や福祉、各種事業の広域化や災害時の迂回路、各国道間の連絡、観光客の誘致等々その効果は計り知れないものがあります。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１地域の現状と抱える課題

様式 ②

山梨県丹波山村

○現状 (国道４１１号線丹波山村～甲州市間)

国道４１１号線は、首都・東京と山梨県を結ぶ幹線道路であり、沿線住民にとっては日常生活を支える生命線であるとともに、緊急時における中央自動車道の代替道路としての役割を果たす重要な道路です。

また、甲州市から本村経て東京都奥多摩町へ至る沿線は、多摩川源流域及び秩父多摩甲斐国立公園の自然豊かな地域であり、観光ルートとしても重要な意味を持った道路です。

昭和５７年の国道昇格以来、関係機関のご尽力により、年々改良が進み、近年では橋梁架設・トンネル掘削など大規模な新設改良工事が促進されております。

しかしながら、未だ未改良区間は山岳道路特有の急カーブ・急勾配でまた切り立った岩の間を縫って走る狭隘な幅員の道路で交通事故の危険性だけでなく、連続雨量８０ミリでの交通規制や、落石・土砂崩落等も発生しやすいため、住民生活にも支障をきたしています。

○課題

一部区間のトンネル化及び道路改良・防災対策の促進

今後の道路行政についての意見・提案

②－１地域の現状と抱える課題

様式 ②

山梨県丹波山村

○現状 (国道４１１号線丹波山村～奥多摩間)

国道４１１号線丹波山村から東京都奥多摩町間にはトンネルが１７箇所ありますが車道幅員が５．３５ｍ、高さも上部のカーブする高さまで２．２ｍと狭く且つ低いトンネルです。

大型バスや大型ダンプカーの左上の角がトンネルに接触することとなり、センターラインからはみ出さざるえを得ず、大型車のする違いができないことから大型バスの運転手から敬遠されかねず、観光振興からも憂慮されます。

春から秋までの日曜や祝祭日には、車の渋滞の原因にもなっており、そのうえ歩道もなく照明が暗いこともあって、歩行者の安全確保が問題視されております。

また、地形も急峻でトンネルで出入口の落石の危険も懸念されます。

○課題

産業振興と住民生活の安定のため、国道の整備を協力を推進できますようお願いします

特に、点在する１７ヶ所のトンネル拡大改良施策をお願いします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②－２ 地域の目指すべき将来像

山梨県丹波山村

住民生活の利便、安全、安心、企業誘致をはじめ地域の活性化にとって必要不可欠な道路整備の推進